

第16回日本放射光学会若手研究会 募集要項

1. 若手研究会公募の趣旨

放射光は、物質科学から生命科学まで幅広い研究分野で利用され、学術研究のみならず産業応用も進められるなど現代科学において必要不可欠な基盤技術として広く認知されています。最近では3GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の建設が進み、稼働・運用も近づいてきており、軟 X 線領域の高輝度放射光を活用した新しい放射光研究への期待が高まりつつあります。また、昨今の情報科学の進展は目覚ましいものがあり、放射光科学分野においても、人工知能や機械学習を活用したデータ解析は最早必須になりつつあるといっても過言ではありません。このように今まさに新しい放射光科学への扉が開く時代を迎えるにあたって、今後の放射光科学を担う若手研究者が中心となって、今後の放射光科学をどのように展開していくのかを考える若手研究会を日本放射光学会内で広く募集します。

本研究会は、若手研究者のリーダーシップの育成、および、研究会で議論されるサイエンスを通じた新しいネットワークの形成に貢献するとともに、独創的・萌芽的な研究テーマの発掘およびその研究促進に寄与することが期待されます。

過去の研究会は学会 HP (https://jssrr.smoosy.atlas.jp/ja/past_young_ws) をご確認ください。

2. 募集条件

- ・放射光科学の将来を議論する若手主体の研究会である
- ・将来ビジョンについての議論を含めるものとする
- ・放射光科学に関するものであれば研究分野は問わない
- ・代表者、共同申請者は学会員である
- ・代表者と共同申請者は全て異なる研究室・研究グループに所属している
- ・代表申請者および1名以上の共同申請者の年齢が40歳以下とする
- ・50万円を上限とした開催費用を補助する（他予算との共催も可能）
- ・採択された研究会は学会誌への開催報告書提出を義務付ける
- ・参加想定人数30名程度以上とする
- ・開催時期：2024年夏（7月から9月）に開催可能なもの

3. 申請締切

2024年3月22日（金） 17:00 必着（若手研究会申請書による申請）

4. 申請書提出方法

事務局宛に E-mail の添付ファイルで提出して下さい。

E-mail: jssrr@jssrr.jp

5. 本件に関する問い合わせ先

放射光学会 行事幹事 岩澤 英明 (E-mail: iwasawa.hideaki@qst.go.jp)

6. 選考方法

- ・若手研究会選考委員会（以下、選考委員会）を組織して、その選考を行います。

- ・選考委員会は、学会長が委嘱した委員長と複数の委員、および、会長、担当幹事により構成します。
- ・その選考は申請書の記載内容による書類選考を基本とし、必要に応じて選考委員会において申請者へのヒアリング（場所・日時は申請者に後日連絡）を実施します。

〈選考基準〉

- ・以下の項目を考慮した審査を行います。

- ① 放射光科学にむけたニーズを的確に捉えた研究テーマであるか。
- ② 独創的・萌芽的な研究テーマの発掘・促進が期待できるか。
- ③ 研究会を実現するために、十分計画が練られているか。
- ④ 放射光科学の新しいネットワークの形成・発展が期待できるか。 等

※なお、すべての申請が趣旨と合致しない場合には、「採択課題なし」の可能性もあります。